

令和2年度事業報告書

(期間：2020年4月1日から2021年3月31日まで)

法人の名称 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース

1 事業の成果

2020年度は、①啓発事業においては、インスタグラムでの発信の強化、様々な啓発ツールの開発（インフォグラフィックス、パネル等の作成）、オンラインキャンペーンの実施、ウェビナーの開催などを行った。コロナ禍でオフラインでの啓発活動が困難な中で、国内外でのオンラインの啓発活動に取り組んだ。

②自立支援事業においては、前年度から継続した組合活動支援の他、採掘労働者への養蜂研修を開始することができた。リベリアでの新型コロナウイルス感染症の流行が見られたことから、③緊急支援として、リベリア現地法人事務所近隣住民、採掘労働者及び支援事業実施地域住民への感染予防を目的として衛生用品の支援や手洗い方法の指導をおこなった。

2020年度より開始した、④その他の事業では、企業、NPO へのコンサルティング事業、大学等への教育事業を行った。主な事業内容は以下のとおりである。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 啓発事業

ア オンライン（ウェブサイト、SNS、メールマガジン）啓発活動

・内 容

今年度はダイヤモンドの課題をよりわかりやすく伝えるため、課題により関心を持ってもらうためにインフォグラフィックスの制作や Facebook 広告などに取り組んだ。また、インスタグラムの投稿に力を入れた。

・日時 2020年4月～2021年3月

・場所 当法人事務所他

・従事者人員 のべ15人

・受益対象者 当法人のウェブサイト、Facebook ページ、Instagram アカウント、Linkedin ページ、Twitter アカウントにアクセスする者
およびメールマガジン受信者 のべ 216,645 人

・支出額 267,721 円

オンラインの媒体	投稿数/配信数	リーチ数 (訪問数)	ウェブサイト 閲覧数(PV)数
日本語ウェブサイト	31	34,310	58,592
英語ウェブサイト	19	10,424	20,307
Facebook ページ	71	53,179	--
Instagram	58	112,062	--
Linkedin	28	2,777	--
メールマガジン	15	6,670 (のべ購読者数)	--
合計	107	219,422	78,899

イ 講演・講義活動

・内容

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での講演・講義活動を実施することができなかったが、zoomなどのオンラインビデオカンファレンスツールを用いて、日本国内及び海外で講演の機会を得た。大学生から大人まで幅広い層に対して講義・講演を行った。講義・講演の内容は、対象者及び主催者の意向により、ダイヤモンドに関する課題、サプライチェーンの課題、最新技術の導入、環境問題・保護、国際協力分野におけるキャリアパスなどを取り上げた。

・日時 2020年7月～2021年3月

・場所 下表参照

・従事者人員 のべ6名

・受益対象者 ダイヤモンドに関する課題、サプライチェーンの課題、最新技術の導入、
環境保護国際協力に興味のある大学生及び社会人

・支出額 0円

●講演・講義活動実績

#	日付	講義・講演名	対象	場所	聴講者数
1	7月9日	ダイヤモンドを取り巻く課題とあなたにできること	青山学院大学 NPO ・NGO 論受講の大学生	オンライン	約30名
2	7月25日	ダイヤモンドを取り巻く課題と日本の消費者の動向	「Gem Atlas」 (主にインド) ジュエリー業界関係者、宝飾原料の調達に興味がある人々	オンライン	約20名

3	11月27日	Our Journey in Liberia	「Fair Luxury Open House」(主に英国) エシカルジュエリー業界関係者、宝飾原料の責任ある調達に興味がある人々	オンライン	104名
4	1月20日	国際保健医療協力分野におけるキャリアパス	国際保健医療福祉大学 国際協力に興味のある大学生(ゼミ)	オンライン	10名
5	2月28日	Discover Africa-Liberia 特集 当法人の活動紹介、リベリア紹介	Africa Diaspora Network Japan 主催イベント アフリカに興味がある人々	オンライン	28名
6	3月4日	ダイヤモンド・フォー・ピースの挑戦	一般社団法人ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション主催イベント エシカルファッションに興味がある人々	オンライン	43名
小計					215名

ウ. イベント、勉強会の開催

・内容

イと同様に、新型コロナウイルス感染症の影響で、対面でのイベント・勉強会を開催することができなかったため、zoomなどのオンラインビデオカンファレンスツールを用いて、日本国内及び海外の対象者向けのオンラインイベントを開催した。オンラインで実施したことにより、これまでリーチできなかった幅広い層にアクセスすることができた。また、海外からのゲストスピーカーをオンラインでつなぎ、イベントを開催することができた。

・日時 2020年9月～2020年12月

・場所 下表参照

・従業者人員 10人

・受益対象者 ダイヤモンドに関する課題、サプライチェーンの課題、最新技術の導入、環境保護、国際協力に興味のある大学生及び社会人

・支出額

33,000 円

●当法人主催イベント

#	開催日	イベント名	内容	場所	参加人数
1	9月16日	オンライン連続セミナー 第1回「グローバル社会におけるダイヤモンドの問題とダイヤモンド・フォー・ピースの取り組み」	紛争ダイヤモンド・人権・環境・貧困問題と、当法人がこれらの問題の解決に向けて取り組んでいる鉱山労働者の組合運営支援や生計向上のための養蜂プロジェクト等について紹介した。	オンライン	44名
2	10月3日	Webinar Series #1 “Issues Surrounding Diamonds and DFP’s Proposed Solutions”	上記の内容を欧米圏視聴者対象に英語で実施した。	オンライン	24名
3	9月30日	オンライン連続セミナー 第2回「ボツワナ鉱山労働者組合の声」	ボツワナ鉱山労働者組合事務局長のキツオ・ピリ氏を講師に迎え、ボツワナのダイヤモンドセクターの概要や、労働者が抱える低賃金や労働条件・労働環境などの課題について伺った。（日本語通訳あり）	オンライン	36名
4	10月17日	Webinar Series #2 “Voices from Botswana Diamond Mines”	上記の内容を欧米圏視聴者対象に英語で実施した。	オンライン	14名
5	10月14日	オンライン連続セミナー 第3回「紛争ダイヤモンドとキンバリープロセス：その意義と限界」	キンバリープロセス市民社会連合グローバル・コーディネーターおよびジンバブエ環境法協会副代表シャミソ・ムティシ氏とインターナショナル・ピース・インフォメーション・サービス研究員ハンス・メルケト氏の2名を講師に迎え、ジンバブエをはじめとするダイヤモンド鉱山における暴力やレイプ等の人権侵害、環境破壊、カット工場における低い労	オンライン	46名

			働基準、キンバリープロセス認証制度による紛争ダイヤモンドへのグローバルな取り組みの成果と制度の欠点などについて伺った。 (日本語通訳あり)		
6	10月28日	Webinar Series #3 “Voices from Kimberley Process Civil Society Coalition”	上記の内容を欧米圏視聴者対象に英語で実施した。	オンライン	41名
7	11月7日	オンライン連続セミナー 第4回「ブロックチェーンを用いたダイヤモンドの責任ある調達の最前線」	エバーレジャー社サステナビリティ担当ヴァイスプレジデントのキャリー・ジョージ氏を講師に迎え、同社のブロックチェーン技術を用いて、ダイヤモンド原石をはじめ宝石や鉱物、アパレル等様々な製品のサプライチェーンに沿った原産地情報や人権保護や環境保護等の情報を製品のパスポートとして集約し、顧客に提供する技術・サービスについて伺った。(日本語通訳あり)	オンライン	31名
8	11月13日	Webinar Series #4 “Emerging Technology for Transparent Supply Chains”	上記の内容を欧米圏視聴者対象に英語で実施した。	オンライン	40名
9	12月14日	サステナブルなダイヤモンド調達の動向とリベリアにおける活動報告会	エシカル消費と宝飾業界の動向、ラボ・グロウン・ダイヤモンド、リベリアにおけるDFPの活動報告、リベリアでの新型コロナウイルス感染症緊急支援について報告した。	オンライン	30名
小計					306名

●外部イベントへの出展

#	開催日	イベント名	内容	主催	参加人数・ ブース 来場者数
1	8月13日	The Global Summit VII	セッション「Finding Truth: Technology & Big Data」にパネリストとして参加し、ダイヤモンドを取り巻く課題について紹介した。	Empowerment Works (米国 NGO)	約 20 名
2	10月16日	MIO HARUTAKA トークイベント	当会法人会員であるジュエリーブランド MIO HARUTAKA 氏より、ダイヤモンドの問題に関心を持ったきっかけ、当法人との出会い、支援している養蜂活動の紹介、当会代表村上より、ダイヤモンドに関する問題や当法人がリベリアで実施している採掘労働者支援活動の概要について紹介した。	MIO HARUTAKA (ジュエリーブランド)	約 60 名
3	11月25-28日	エコプロダクツ展 (エコプロ online 2020)	環境省の企画展「水銀を使わない技術」において Fairmined のゴールドを用いたジュエリーを製造・販売する企業とともに出展した。	日本経済新聞社 (一社) サステナブル経営推進機構	971 名
小計					1,031 名



エ Sourced with Love (愛でつながるダイヤモンド) キャンペーン

消費者にも宝飾業界の人にもダイヤモンドをめぐるさまざまな課題に意識を向けてもらうため、産出国が分かり、紛争やテロとは関係のない天然ダイヤモンドを「Sourced with Love (愛でつながるダイヤモンド)」と定義づけ、そのようなダイヤモンドを持っている人のストーリーをホームページやSNSで紹介、さらなる普及を図った(日本語および英語)。なお、先着 50 人に贈るノベルティとして「Sourced with Love」のロゴが入ったダイヤモンド・フォー・ピース特製ボトルバッグを製作した。

- ・日 時 2020年7月～2021年3月
- ・場 所 オンライン(国内外)
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 国内外で当法人の活動、ダイヤモンドの課題に関心のある人々 約1,000人
- ・支出額 29,576円

オ 啓発ツールの開発、作成

- ・内 容
- ◆ ニュースレター

当法人の(潜在)支援者やイベント参加者に実施した活動や活動予定をよく知って頂く目的で、ニュースレター”The Journey”を発行した。同ニュースレターは英語と日本語の併記で、日本・海外の両方において広報啓発ツールとして活用した。第3号(2020年6月発行)はリベリアの女性ダイヤモンド採掘労働者について主に取り上げ、第4号(2020年11月発行)は第2次新型コロナウイルス感染症緊急支援報告として発行した。

- ・日 時 2020年5月～11月
- ・場 所 当法人事務所他
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 国内外で当法人の活動、ダイヤモンドの課題に関心のある人々 約1,000人

・支出額 8,120 円

◆ 展示物の製作

採掘現場や採掘労働者が抱える課題を紹介するために、イベント等で使用するバナースタンドやタペストリーの作成を行い、当法人の活動を伝えるツールの充実を計った。

・日 時 2020年4月～2021年1月

・場 所 当法人事務所他

・従事者人員 6人

・受益対象者 国内外で当法人の活動、ダイヤモンドの課題に関心のある人々 約1,000人

・支出額 13,000 円

◆ SNS 広告・配信

当会のペルソナである女性消費者の他、近い将来、結婚等でダイヤモンドを購入する機会があるであろう若い男女を対象とし、行動変容（店舗にてダイヤモンドを購入する際に出所を質問すること）を促すことを目的とする広告を制作し配信した。a) スワイプデッキの制作と配信（米国/英国の主要都市の30-50代女性を対象）、b) 漫画風イラストの制作と配信（米国/英国の主要都市の22歳～35歳の男女を対象）を制作し、Facebook 及びインスタグラムで配信した。

・日 時 2020年12月～2021年1月

・場 所 オンライン

・従事者人員 6人

・受益対象者 米国/英国の主要都市の30-50代女性約42,000人、米国/英国の主要都市の22歳～35歳の男女計62,000人

・支出額 581,295 円



スワイプデッキ

漫画風イラスト

② 自立支援事業

ア 養蜂基礎研修の実施、OJT 研修の実施

リベリア共和国において、手掘りダイヤモンド採掘労働者が貧困の悪循環から抜け出すためには、不安定なダイヤモンド採掘活動以外からの収入源を多様化することが必要である。リベリア国内及びヨーロッパ等海外における蜂蜜の需要が高まっていること、また採掘地域には養蜂に適した豊かな森林があることから、DFP では手掘りダイヤモンド採掘労働者に対して、養蜂研修を実施した。

2020年9月にリベリアで養蜂研修を提供するNGOユニバーサル・アウトリーチ・ファンデーション(UOF)の協力の下、5日間の養蜂基礎研修を実施した。

本研修は①座学による養蜂の基礎(ミツバチの種類、巣の管理方法等)、②巣箱作り、③森に巣箱を設置する実地研修の3つから構成されている。研修参加者は基礎研修に加えて、毎月実施されるOJT研修に継続的に参加することで、実践的な養蜂技術を学ぶことができた。巣箱は購入した既製巣箱60箱の他、86箱を参加者が作成し森に順次設置している。

また、支援している採掘組合の中から数名の養蜂家がブッシュマネージャーとして任命され、研修参加者による巣箱の手入れ具合を定期的に確認するとともに、同じく組合内に養蜂活動に必要な道具を管理する委員会が組織され、当法人が提供した養蜂に必要な道具の管理とレンタルを行っている。

- ・日時 2020年9月～2021年3月
- ・場所 リベリア共和国 ウィズア村
- ・従事人数 6人
- ・受益対象者 対象地の採掘権所有者、採掘労働者、村のリーダー、女性等70名
(参加者20名、オブザーバー50名)

・支出額 801,900 円



巣箱を森に設置する方法を学ぶ研修参加者



巣箱の作成方法を学ぶ研修参加者

イ 採掘組合支援活動

・内容

リベリア共和国ウィズア村の採掘組合を対象に、組合を適切に運営するための能力強化に取り組んだ。以下の活動を継続的に実施した。

- ◆ 組合の定期活動、定期会議開催の促進
- ◆ 基本的な記録作成方法の指導と記録確認、助言
- ◆ 正式な組合資格を取るための準備支援
- ◆ 組合活動のモニタリング、助言

・日時 2020年4月～2021年3月

・従事者人員 3名

・受益対象者 ウィズア村の組合員約50名及びその下部組織員約70名

・支出額 486,812円

ウ 手掘り採掘地域むけ COVID-19 緊急支援事業

世界銀行が実施する The Extractives Global Programmatic Support (EGPS) 手掘り採掘地域むけ COVID-19 緊急支援助成金を受け、保健分野、経済分野、調査分野の3分野に関してそれぞれ以下の活動を実施した。

①保健分野：

- ◆ リベリア西部（ボミ州・バボル州）17村を対象とした COVID-19 の現状把握のための事前調査の実施・健康関連情報及び受益者の特定。
 - ◇ インタビューを実施したうちの大多数は COVID-19 とは何か、感染しないために何をしなければいけないかを説明することができ、COVID-19 についてある程度理解していることが判明した。
 - ◇ COVID-19 による手掘りダイヤモンド採掘者に対する悪影響としては、1) コミュニティに買

い手が来ない、2) ダイヤモンドの価格の低下（約 33-37%低下）、3) ロックダウンにより鉱物を売るために首都に行くことができない等が挙げられた。

◇ 家族やコミュニティへの悪影響として、1) 収入の減少、2) 親の収入の減少により子どもが学校に行けなくなった、妊娠したために学校に戻ってこられなくなった、3) 移動の制限により、仕事で他の町に行けなくなった等が挙げられた。

- ◆ マスタートレーナーによるリベリア現地法人プロジェクトチームへの石鹸作りのトレーニング
- ◆ 保健及び石けん作りワークショップ 講師むけ実施ガイドの作成

②経済分野：

- ◆ ウィズア村の採掘組合向け手掘りダイヤモンド採掘に関するリスク分析とその対応方法を検討・実施する継続的なプロセスのためのデューデリジェンスツールと啓発資料の開発

③調査分野：

- ◆ ダイヤモンド輸出業者に関する基礎調査を行うための質問票作成、責任あるダイヤモンドの調達に関する啓発資料の作成

- ・日時 2021年1月～3月
- ・従事者人員 7名
- ・受益対象者 対象17村の住民約4万8千人、対象村におけるクリニックの医療従事者・学校、ウィズア村の組合員約50名及びその下部組織員約70名、ダイヤモンド輸出業者
- ・支出額 2,230,000円



バボル州 Tarkpoima 村のクリニックにおける聞き取り調査の様子



バボル州 Njaboi 村における聞き取り調査の様子

③緊急支援事業

ア リベリアにおける新型コロナウイルス感染症緊急支援

・第1回緊急支援

5月11日から6日間、ダイヤモンド・フォー・ピース・リベリア事務所が所在するマギビ州カカタ市マンディング地区で、手洗い設備を持たない特に貧しい70世帯・758人に対し、衛生用品（手洗い用バケツ、石けん、布マスク）の配布、新型コロナウイルス感染症に関する正しい情報の提供、および衛生指導を実施した。また、5月18日から20日まで、第1回モニタリングを実施し、対象世帯の人々が手洗いや外出時にマスク着用をしていることを確認し、石けんを追加配布した。

2020年5月26日時点のマギビ州カカタ市マンディング地区における配布状況

対象世帯数	対象人数	手洗いバケツ数	石鹸数	マスク数
70	758	70	420袋	700

- ・日時 2020年5月
- ・従事者人員 6名
- ・受益対象者 リベリア共和国マギビ州カカタ市マンディング地区の住民758名
- ・支出額 155,000円

・第2回緊急支援

リベリア国内における交通封鎖が解除された後の2020年8月、ダイヤモンド・フォー・ピースが活動対象としているバポル州ウィズア村の採掘権保有者、採掘労働者、女性グループメンバー、村のリーダー、サテライト・ビレッジ16村に対して、同様に衛生用品の配布、情報提供、衛生指導、モニタリングを実施し、現地の診療所に非接触型体温計、血圧計、布マスクを寄付した。

2020年8月31日時点のバポル州ウィズア村における配布状況

受益者	対象人数	手洗い バケツ	石けん	布マスク	血圧計	体温計
-採掘組合員 -手掘り採掘労働者 -女性グループのメンバー -村のリーダー	73 世帯 (ウィズア全体で 400 世帯/約 3400 人)	73 個	73 ダース	146 枚 (1 人 あたり 2 枚)	-	-
サテライト・ビレッジ	16 村 (240 世帯/約 1680 人)	16 個	16 ダース	-	-	-
クリニック	-	-	-	100	1	1
合計	640 世帯/約 5000 人	89 個	89 ダース	246	1	1

- ・日時 2020年8月
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 リベリア共和国バポル州ウィズア村の採掘権保有者、採掘労働者、女性グループメンバー、村のリーダー、サテライト・ビレッジの住民約5,000人
- ・支出額 327,852円

・**鉱物サプライチェーンアクターに対し、OECD ガイダンスに則った行動を求める文書に署名**
 政府、金融機関、国際機関、民間企業等が、新型コロナウイルス感染症危機下において、手掘り小規模採掘地域を支援し、早急かつ協調的な行動をとること、また、「OECD 紛争地域及び高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」（以下、OECD ガイダンス）に則り、鉱物のサプライチェーンにおける人権保護と適正評価（デュー・デリジェンス）に関してこれまでに苦労して達成した進捗を守ることを求める文書に署名した。また署名文書を日本語に翻訳し啓発活動を行った。

- ・日時 2020年5月
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 小規模な鉱山で生計を立てている世界の採掘労働者約4,050万人
- ・支出額 0円

④その他の事業

ア コンサルティング事業

・内容

2020年4月10日付で定款を変更し、その他の事業を開始した。

2020年度は主に以下の案件をコンサルティング事業として実施した。

◆ 企業むけ補助金申請支援

補助金獲得をめざす企業に対し、補助金を得て実施する活動のヒアリングを行い、補助金申請書の作成を支援した。

◆ NPOむけプロジェクト会計報告作成支援

助成元に提出するための煩雑な会計報告の作成を支援した。

- ・日時 2020年4月～2021年3月
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 発注企業、団体 のべ4団体
- ・支出額 347,858円

イ 教育事業

・内容

2020年度は主に以下の案件を教育事業として実施した。

◆ 大学むけ講義

国際協力に関する授業にて、オンライン講義を行った。

◆ 各種団体むけ講演

発注団体の会員を対象に、オンラインにて講演を行った。

- ・日時 2020年7月～2021年3月
- ・従事者人員 1名
- ・受益対象者 発注大学、団体 2団体
- ・支出額 0円